

令和7年11月26日

☆☆☆☆☆ 食育だより ☆☆☆☆☆

★★★ 本日のみやぎのおいしい食材 ★★★

ぎゅうにゅう ○牛乳 ○サラダに使っている「きゅうり」

とりごもく ○鶏五目ごはんに使っている

こめ かんきょうほぜんまい 「米（環境保全米ひとめぼれ・みやこがねもち）」 とりにく 「鶏肉」

しる つか はくさい とうふ こまつな ○みそ汁に使っている「白菜」「えのき」「豆腐」「小松菜」「みそ」

★「白菜」は高等学園園芸班のみなさんが育てたものです。おいしいですよ！

にほん はくさい みやぎけん たんじょう  
日本の「白菜」は、宮城県で誕生した！？

めいじじだい ちゅうごく はくさい たね も かえ にほんじん かくち たね う そだ  
明治時代に、中国から白菜の種を持ち帰った日本人が、各地で種を植えて育て  
てみたのですが、うまく育ちませんでした。その原因を探ったところ、かぶなどの  
ほか はくさい か やさい いっしょ はたけ さいばい はくさい  
他のアブラナ科の野菜と一緒に畑で栽培すると、うまく白菜にならないことがわかり  
ました。

そこで、ほか やさい ま りとう かくり そだ  
他の野菜と混じらないように離島で隔離して育ててみることにしまし  
た。その場所が宮城県塩竈市の浦戸諸島です。そこで白菜を育てる研究を重ね、  
みごとせいこう まつしま ごう はくさい にほん はくさい げんけい  
見事成功したのが、「松島2号」という白菜です。これが日本の白菜の原型のひとつ  
といわれています。その後、ご たいしょう お ごろ しょうわ はじ せんたいはくさい  
と言われている。その後、大正の終わり頃から昭和の初めにかけて、「仙台白菜」  
という名前で、な まえ とうきょう よこはま しゅっか みやぎけん はくさい いちだいさんち ぜんこく  
という名前で、東京や横浜に出荷され、宮城県は白菜の一大産地として全国にそ  
のな  
の名をとどろかせました。